

Fuzor 2024リリースノート

Sosin Archi Plan

- Archicad 27に対応しました
- Revit 2025に対応しました
- Navisworks 2025に対応しました
- Civil3D 2025に対応しました
- Rhino8に対応しました
- SKP 2024ファイルに対応しました

Key Features

- 1. 4D自動化機能** : 建設スケジュールの検証には、4Dシーケンスが不可欠です。4D自動化機能は、スケジュールや3Dモデルデータの社内基準を設定したデータベースを利用することで、オブジェクトの手動での割当てを削減します。
- 2. マイクロタスクシステム** : 詳細なタスクとその場所を複雑にスケジューリングすることで、作業現場での潜在的なコンフリクトや危険を巧みに特定し、施工計画や物流計画の強化につながります。マイクロタスクシステムは、自動リンクシステムを通じて従来のマクロタスクとシームレスに統合され、それぞれの目的のために両方のスケジュールを確実に保存します。
- 3. コンストラクションゾーニングツール** : 新しいゾーニング・ツールは、建設ゾーンを時系列に図示することができます。これにより、ゾーニングのプレゼンテーションがより明確になります。
- 4. キーフレームアニメーションの自動生成** : 施工性と方法論を伝えるには、施工の各ステップを明確に図示することが不可欠です。この新機能により、詳細なアニメーションが自動生成されるため、時間を節約し、これまでにない詳細なデジタル成果物を提供できます。
- 5. アニメーション・リンクPATH** : 現場のロジスティクスにとって重要な、現場内での車両運行の効果的な計画は、Fuzorの車両システムによって簡素化されました。車両進入のシームレスな計画、指定された場所での詳細な作業、明確な出発ルートの確立が可能になり、作業の明確性と効率が向上します。
- 6. 車両コンポーネント・システム** : 建設期間を通じて多様で拡張された機能を持つ建設車両の多用途性をサポートするこのシステムは、進行する建設フェーズに基づき、車両が異なるコンポーネント間をシームレスに移行することを可能にします。

その他の改良 – Fuzor コンテンツ (アバター)

1. **作業半径のカスタマイズツール**: 作業半径の表示では、カラーオプションのカスタマイズや、より見栄えの良いプレゼンテーションのために、キャップのみを表示したり、半径全体を表示したりできるようになりました。
2. **足場の高さ**: 足場の設置PATHを特定の高さに設定することで、現場の状況をよりリアルに再現し、コンテンツを手作業で配置する時間を短縮できます。
3. **バリア用のライトアニメーション**: Fuzor バリアにディテールを追加することで、より見栄えの良い成果物と、よりリアルな建設現場の状況を実現。
4. **コンテンツ・ライブラリーのUI改善**: コンテンツライブラリフィルタをダブルクリックすることで、ライブラリを特定のアセットタイプに絞り込むことができ、より正確なシミュレーションを可能にするアセットの検索性が向上しました。

その他の改良 – プレゼンテーション

5. フライスルービデオでカスタマイズ可能なガントチャート：より見栄えの良いプレゼンテーションや検証ビデオの作成のため、フライスルー動画に移動可能でサイズ変更可能なガントチャートを追加するオプションを追加しました。
6. フライスルーでの3Dマーカー移動：フライスルー内で3Dマーカーをシームレスに編集できるようになり、ビデオ制作のスピードアップと書き出し品質の向上に役立ちます。
7. 3Dマーカーリード：3Dマーカーをより詳細にカスタマイズすることで、より鮮明で見栄えの良いプレゼンテーションが可能になります。
8. 3DマーカーのUIの改善：ワークフローを改善し、マーカーを簡単に移動できるようになりました。

その他の改良 – イベント・トリガー

9. **トリガーダイアログ設定の改良**：トリガーダイアログに作成するオブジェクトの自動整列機能のオン/オフを追加し、さらにカスタマイズできるようになりました。
10. **トリガーテンプレート**：トリガーテンプレートを保存し、Fuzorモデル間で再利用することで、作業効率を高めることができるようになりました。
11. **カラムマップトリガー**：トリガーを4Dスケジューリングと組み合わせることで、時間を節約し、人的ミスを減らすことができるようになりました。
12. **ゾーントリガーのサポート**：ゾーンをトリガーイベントとして使用できるようになり、4Dシミュレーション中のトリガーの使用用途が大幅に広がりました。

その他の改良 – 4D

13. **属性データの付与機能** : BIMデータの詳細レベルが低い場合、またはモデルにBIMデータがない場合 (SKP / FBX ファイルなど)、モデルにデータを追加して、より正確なオブジェクトの割当てとレポート機能の強化を可能にしました。
14. **ワークレート** : Fuzorの計算データだけでなく、モデルデータを使用してFuzorのスケジュール期間を検証し、人為的ミスの少ないより正確なスケジューリングを支援することができるようになりました。
15. **タスクフィルタの改善** : タスクのフィルタリングに、より詳細なオプションが追加され、関連するタスクをすばやく検索したり、無関係なタスクを非表示にしたりできるようになりました。
16. **コンストラクション・HDスクリーンショット** : HDスクリーンショットは、Fuzorの4Dプレゼンテーション機能を強化するだけでなく、サイトの物流だけでなく、完全な4D情報を表示できるようになりました。
17. **スケジューリング機能の改善** : マイクロタスクのセットアップを容易にし、スケジュールの編集時間を短縮するために、複数のタスクを特定のタイプに変更する機能を実装しました。スケジュール作成ツールの合理化により、タスクの作成が迅速かつスムーズになりました。スケジュールの作成にモデルを必要としないため、スケジュールの確認やファイルサイズを軽くする必要がある場合に、より高速な読み込みが可能になりました。
18. **スケジュール更新ログ** : スケジュール更新ログでは、スケジュールの更新によって変更されたタスクがハイライトされるため、VDCチームは何をすべきかを正確に把握することができます。
19. **新しいオブジェクト分割ツール** : 新しい正投影図を使用して、オブジェクトをフリーハンドで分割できるようになりました。これにより、スラブ流し込みなどのより精密な切断が可能になりました。

その他の改良 – モデル更新/エクスポート

20. IFC エクスポートオプションの改善: IFC エクスポート時のリンクファイルオプションにより、エクスポート時間が短縮され、ファイルサイズの最適化が図れるようになりました。
21. オブジェクトの解体保存: SKPモデルを完全に分解してインポートできるようになり、またNavisworksモデルのジオメトリを再結合をしないようにしたため、より速くスムーズなモデル更新が可能になりました。